

放課後等デイサービス自己評価表 集計結果及び施設内会議結果					施設名: <b>アインクラブ</b>
自己評価実施職員数: 11人					検討会議実施日: <b>令和2年12月21日、令和3年1月12日</b>
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善を要する点の有無 施設内会議での意見
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1	1	・令和3年3月より、現在よりもスペースの広い施設へ移設予定。
	② 職員の配置数は適切であるか	10	1	0	・適切であるが、日ごとの利用者の状況によっては人員が足りていないと感じる日がある為、人員を増やすべく採用活動を引き続き行っていく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	4	0	・新施設では出来る限りの配慮を行う予定。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	2	1	・年2回の職員による自己評価シート作成や定期ミーティングにて行っているが、業務内容の向上を目指し、引き続き改善努力を続けていきたい。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	2	0	・年1回アンケート調査を実施し、頂いたご意見を基にミーティングにて業務改善に向け検討を行っている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	3	0	・評価結果をホームページで公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	6	4	・令和3年度内に第三者評価受審予定。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	2	0	・社内研修を年4回実施しているが、外部研修もこれまで以上に積極的に活用していきたい。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	2	0	・行っている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	7	・今後ツールの活用について検討していきたい。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	3	0	・野外活動や物作り活動だけではなく、室内でも身体を動かせるようなプログラムをチームで考案し実行していきたい。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	4	0	・さらに工夫していく必要がある。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	5	0	・さらに改善していく必要がある。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	2	0	・身辺自立について等の個別活動は充実しているが、今後は集団活動の内容をさらに工夫していく必要がある。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	1	0	・支援開始前に職員間で話し合い、支援内容や役割分担などについて共有している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	1	0	・支援終了後、その日の振り返りを行い情報共有をしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	1	0	・職員連絡ノートへの記録と、支援終了後に職員間グループラインへ毎日業務日報を載せ情報共有を行っている。また改善点についてはミーティングにて検討を行っている。
関係機関 や保護者 との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	2	0	・半年毎に行っている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	8	0	・行っているが、さらに活動内容の質の向上を図っていきたい。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	4	0	・随時参画している。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	1	0	・学校お迎え時、個々の担任の先生と情報共有を行っている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	4	0	・医療的ケアが必要な児童はいないが、アレルギーやてんかん等がある児童については、保護者を通じて情報交換を行っており、主治医の情報も頂いている。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	3	1	・直接行ってはいないが、保護者や学校の先生を通じて情報を頂いている。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	7	1	・該当者がおらず機会は無かったが、機会があった際には情報共有を行っていく。
関係機関 や保護者 との連携	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	5	1	・研修に参加しているが、まだまだ数が少ない為、さらに積極的に参加していきたい。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	5	1	・公共の施設で活動する際に、障害のない子どもと関わる機会はあるが、放課後児童クラブや児童館との交流は行っていない。

	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	5	0	・参加している。	
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	1	・サービス提供記録、電話、送迎時の引き渡し等で情報交換を行っているが、さらに積極的に保護者と連携を取り、子どもの状況や課題について情報交換を行い、理解を深めていきたい。	
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	7	0	・保護者からの相談に応じて行っているが、さらに保護者から信頼され、子どもに対する対応の仕方についてお互いに相談し合える関係を築いていきたい。	
	保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	2	0	・契約時に説明を行い、その後も相談があれば随時説明を行っている。
		③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	2	0	・随時相談に応じているが、さらに安心してご相談頂けるよう、信頼関係を深めていきたい。
		③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	7	3	・社会情勢を鑑みて、親子で参加出来るイベントや保護者会等を、保護者の負担にならない形で実施していきたい。
		③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2	0	・対応しているつもりではあるが、適切に対応出来ているか常に見直し続ける必要がある。
		③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2	0	・会報以外にも、定期的に月間の活動予定表を作成し配布していく予定。
		③5	個人情報に十分注意しているか	10	1	0	・注意している。
③6		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1	0	・さらに積極的に保護者と連携を取る為、サービス提供記録の活用と送迎時の申し送りの強化、保護者面談等を行っていく予定。	
③7		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	7	4	・現在は自粛しているが、参加可能になった際は地域の行事やイベントへの積極的な参加や、事業所イベントへの参加の呼び掛けを行ってきたい。	
非常時等の対応		③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	5	0	・職員には周知できているが、保護者への周知が徹底されていない為改善が必要。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	2	0	・避難訓練を年2回実施している。	
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	1	0	・年2回虐待防止に関する内部研修を行い、外部研修にも参加しているが、これまで以上に外部研修を活用する機会を増やしていきたい。	
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	4	0	・現在は身体拘束が必要な児童はいないが、いる場合には、本当に必要かどうか十分に検討した上で保護者と相談をし、必要な場合には個別支援計画に記載を行う。	
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	1	0	・行っている。	
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	1	0	・ヒヤリハット報告書を作成し、書面及びミーティングで共有している。	

保護者向けアンケートをふまえての改善点・意見など

- ・令和3年3月に管理者による保護者面談の実施。その後は半年毎の個別支援計画書更新時に希望者のみ面談実施予定。
- ・避難訓練を年2回実施しているが、実施状況が十分に周知されていないようなので、会報やサービス提供記録で周知していく。
- ・コロナの状況を鑑みながら、親子で参加できる企画を考え開催していく。また、保護者会も実施していきたい。
- ・スタッフが入れ替わり、不安をお持ちの方もいる為、早く信頼関係を築き、安心して子供を預けて頂く為にも、積極的にコミュニケーションを取っていく。
- ・保護者に対して、プラスの面だけ伝えるのではなく、起きたことを正直に伝え、保護者と連携を取りながら一緒に課題や解決策について考えていく。
- ・アインでどのように感染症対策を行っているかお知らせを配布。
- ・活動イベントや事前に決まっている外出先を載せた活動予定表を毎月配布していく。
- ・活動の様子が伝わるような会報を積極的に配布していく。